

国際物流戦略チーム 取組検討分科会（仮称）の設置について （案）

1. 経緯・目的

「国際物流戦略チーム」は2005年に全国に先駆けて産学官の連携の下に設置され、その後の約10年間の活動の中で、取組の方向性を示す「広域連携を通じた国際競争力強化に向けた提言」（2006年4月）等を取りまとめ、「大阪湾諸港の一開港化」の実現等の成果を上げてきた。

今年度は、国際物流戦略チームの取組の方向性を示す「今後の取組（2016-2017）」について、国際物流を巡る環境変化に対応しつつ、これまでの取組内容をベースに、策定する予定。

今後、国際物流戦略チームは、「今後の取組（2016-2017）」の策定に留まらず、国際物流の効率化をより一層進めていくことが重要であると考えている。

そのため、これまで進めてきた取り組みに加え、近畿地区全体にわたり改めて課題を整理・検討し、その解決に向けた施策・方向性を提案することを目的として、「国際物流戦略チーム 取組検討分科会（仮称）」（以下「取組検討分科会」）を設置することとしたい。

2. 構成員

小野 憲司 京都大学防災研究所特定教授
を座長に少人数でメンバーを構成する。

3. スケジュール（案）

取組検討分科会を含めた国際物流戦略チームの活動スケジュールは以下のとおりとする。

●平成27年度

12月22日～平成28年1月21日

現況の課題を把握し、取組検討分科会における議論の参考とするため、近畿地区内の事業者（製造業、卸売業、小売業、物流事業、協同組合）を対象に「近畿圏の物流に関するアンケート調査」を実施
（アンケート結果に基づきヒアリングを実施予定）

2月15日 国際物流戦略チーム第24回幹事会（取組検討分科会設置提案、アンケート調査の回答事例紹介）

3月22日 国際物流戦略チーム第12回本部会合
（取組検討分科会設置提案、アンケート結果（参考資料3及び4を参照）の報告）

●平成28年度

5月～8月 取組検討分科会開催（検討項目の選定、課題解決策の議論、施策・方向性のとりまとめ等）

9月 国際物流戦略チーム第25回幹事会（とりまとめ案を審議）

10月～3月（幹事会の指摘事項を踏まえ、本部会合等における審議又は報告）

●平成29年度

9月 国際物流戦略チーム第27回幹事会（「今後の取組（仮称）」への反映）

以上